

花畑地区（産文会館のある地域）の再開発計画～いまだ見通しせず ゆきづまった再開発を見直し、産文は復活を！

7月9日、熊本市議会中心市街地活性化特別委員会が開かれ、花畑・桜町地区再開発事業の進捗状況などについて報告がありました。

産文会館が閉鎖され3年がたつ花畑地区。花畑公園を挟んで、北側（B街区）南側（A街区）での再開発が計画されていますが、いまだ具体的な事業フレーム（再開発後の床の利活用方針）が示されていません。こうした中、北側（B街区）には、NHK 熊本放送会館の単独移転が



決定するなど、花畑地区再開発は全面的な見直しが迫られています。

.....
まだ使える『産文』を壊し、『再開発ビル』建設は時代錯誤

既存の施設の利活用により市街地活性化を！

そもそも産文会館は、空調設備など改修し、利活用する方針でした。しかし、右表の通り、再開発計画の方針とともに、2009年3月末で廃止されました。

共産党としても、議会のたびに「熟度の低い花畑地区再開発は見直し、建設から30年しかたっていない産

2006年12月	まちづくり協議会桜町地区会議による再開発を求める陳情
2008年3月末	ホール、会議室の休止
2009年3月末	産文会館閉館 (移転補償費約3億円)
2012年6月	B街区にNHKが単独移転を決定

文会館を再開し利活用するべき」と指摘をしてきました。

桜町再開発 3000人規模の国際会議場は必要でしょうか？

花畑地区再開発とともに、道を挟んだ桜町地区でも再開発計画が予定されています。開発区域は、右図のとおり、県民百貨店（旧くまもと阪神）から交通センターにかかる広大な区域です。

桜町地区再開発計画においても、既存施設を壊し、バスターミナルや商業施設などとともに、市による3000人規模のコンベンション施設（国際会議や学会、展示会などを開催する施設）が計画されています。

コンベンション施設については、福岡など一部の大都市を除き、厳しい運営を強いられているのが現状です。維持費のほか建設費の返済などに苦労している



自治体も少なくありません。

熊本市では、今ある施設を利用すれば2000人規模の会議は開催可能です。3000人規模の国際会議場を含む再開発計画を見直せば、暮らし・福祉を充実させるための財源もつくり出すことができます。

【控室から】初孫
庭の紫陽花が咲き誇る6月、同居している長男夫婦に、初めての子どもが生まれました。元気な男の子です。生まれた翌日、早速里帰りしている嫁の元へ、お見舞いに行きました。生まれた赤ちゃんを抱っこするのは何年ぶりでしょう。本当に、赤い顔をしています。私も、いよいよ「おばあちゃん」です。
子どもの成長につれ、一人減り、二人減りと、だんだん静かになっていた我が家は、嫁と孫、二人も増えて、元の7人家族に戻りました。また、にぎやかになりそうです。曾おばあちゃんや高校生の若い叔母ちゃんに囲まれて、元気に、たくましく育ってくれることを心から願います。
新しく生まれた小さな命が大切にされる、健やかな子どもの成長が保障される社会になるよう、より一層力を尽くしていきたいと思っています。
おばあちゃん、頑張るからね！



上野みえこ

日本共産党 市議会だより
発行：日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
熊本市中央区手取本町1-1 議会棟 ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

NO. 808
2012年7月15日
電話 328-2656
FAX 359-5047

暮らし・生活環境などお困りのこと気軽にご相談ください!!

坪井川河川敷への階段設置実現へ

新町4丁目・小沢橋近い現場で県土木事務所説明会

坪井川をきれいにする会(代表藤野英一さん)と地元自治会で取り組んだ署名活動が実り、「坪井川河川敷への階段」が年内に、設置される見通しとなりました。7月9日、新町4丁目の現地で、県土木事務所担当者から、階段設計についての説明会が開催されました。

先立つ、5月24日、会と自治会代表は、松岡徹県議や益田牧子市議と共に、70名の署名を添えて、陳情書を県土木事務所に提出していました。

これまで、川に捨てられたゴミや草取りなどの清掃活動に取り組むためには、階段がないため、垂直に立てかけた脚立を利用しており、危険でした。地元自治会関係者からは、やっと実現の見通しとなったことから、「これで安心して、清掃活動ができる」と喜ばれています。



住民現地調査会。松岡県議、益田市議も参加。



明八橋から見た坪井川。藤野英一さんのスケッチ

ご存知ですか?無料・低額診療制度 「お金がなくとも安心して医療が受けられます」

日本共産党市議団には、「職場健診で高血圧と糖尿病が見つかったけれど、賃金が安く、生活がやっとで、治療を受けることができない」「生活保護を廃止したけれど、仕事ができず、糖尿病の治療が受けられない」など、生活苦の中で、治療を受けられず困っている方からの相談が相次いでいます。

民医連の病院・クリニックも指定されています

市議団では、緊急を要する場合など「無料低額診療制度」に認可されている民医連の病院・クリニックなどを紹介しています。我慢して、重症化している方も多く見受けられます。お困りの方は、下記病院・クリニックにご相談ください。

*無料・低額診療制度とは?～社会福祉法第2条3項の9に定める「生計困難者のために、無料又は低額な料金で診療を行う事業」です。実施病院・クリニックでは、本人または家族の申請により、面談し、生活保護制度や国保医療費減免制度など他の制度活用の可能性など総合的に判断し、決定しています。健康保険加入や生活保護開始までの一時的な措置であり、期間は約1～3か月間です。

(熊本県の認可医療機関)

済生会熊本病院 (☎ 351-8000)

イエズス聖心病院 (☎ 352-7181)

くわみず病院 (☎ 381-2248)

くすのきクリニック (☎ 339-0187)

平和クリニック (☎ 371-4751)

